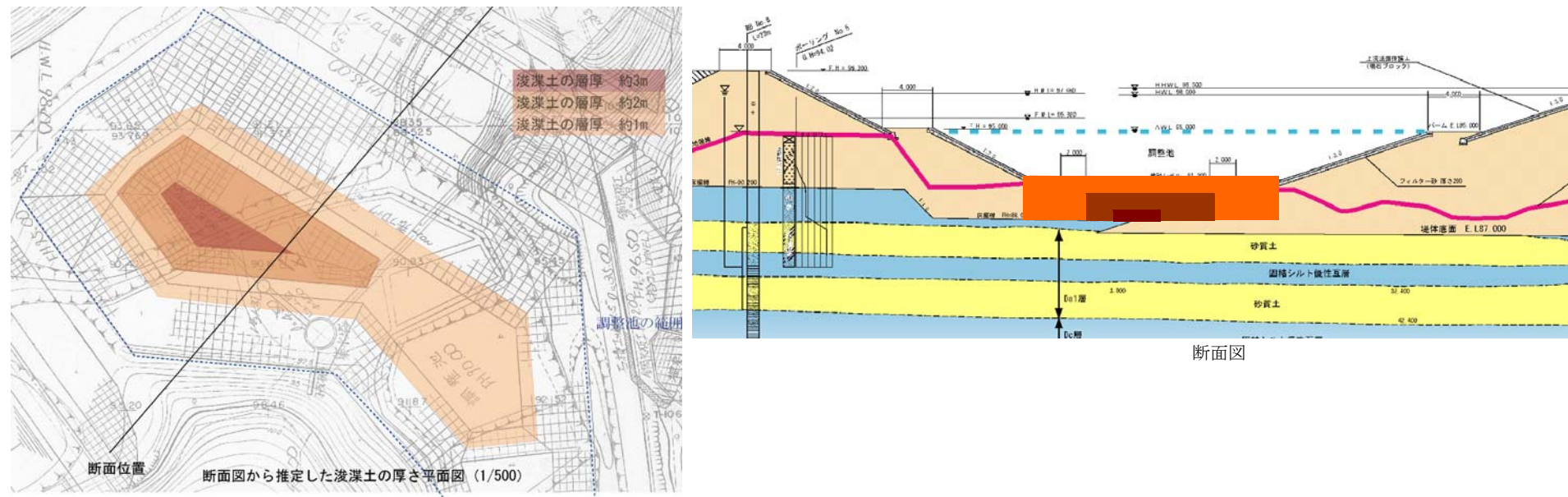


雨水調整池

(1) 雨水調整池の堆積土砂の状況

- ・ 有機物を含む泥状の土砂が 1~3m程度堆積していると想定される。土量は 1,800m³と推定される。
- ・ ダイオキシン類（含有量は 230 pg-TEQ/g）が底質の環境基準（150 pg-TEQ/g 以下）を超過（土壌の環境基準（1000 pg-TEQ/g 以下）は超過していない、また調査指標 250 pg-TEQ/g も超過していない）



(2) 浚渫土の処理方法

大型土のうに袋詰にして、覆土材の下に埋設

- ・ 袋詰にすることで覆土前の土壌の飛散を防止する。底質が湿っている状態で袋詰するため、作業中の飛散は生じない。
- ・ 固化剤を混ぜることで溶出を防止する。
- ・ 周囲の覆土と区別することができる。
- ・ 約 1m の高さがあるため、覆土が厚いところに埋設する。
- ・ 埋設を狭い範囲で行うことが可能である。
- ・ 埋設範囲を明示し、近傍の観測孔でモニタリングを行うことで監視が可能である。

